

工学部 経営工学科

教育研究上の目的

経営工学科は、工学全般にわたる、経営工学に関する基礎的な理論と知識、経営管理システムの設計の原理と方法、企業経営に関する情報技術の活用方法を教授研究し、工学の基本的方法の素養及び経営工学の専門知識を駆使して、ものづくり、ロジスティクスをはじめとするあらゆるサービスの経営管理システムの設計・運用・管理及び分析・評価・改善ができる人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学科の教育研究上の目的等を踏まえ、工学部経営工学科では、工学分野において要求される基礎的理論及び企業や社会において実践されている経営工学手法に関する専門知識と、それらを活用するためのスキルに関して、本学科の学生に習得させることを教育目標としています。

グローバル化や環境問題が重要視される現在の産業社会において、我が国における国際競争力の源泉となるための人材養成にむけ、コミュニケーション能力、国際感覚を洗練するための素養、持続可能な社会構築の視点等を重視した未来志向型の教育を目指します。さらに、実践の学問である経営工学は、変化する様々なビジネス環境において、自らが問題を発見し、その問題を解決するための能力も重要であり、そのような問題発見能力・問題解決能力を習得するため、フィールドを重視したテーマ課題を通して、実学重視の人材育成を教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

本学科の教育理念の下に定められたカリキュラムにおいて、卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる素養及び能力を有していると判定され、学士(工学)の学位が授与されます。

1. 人間としての豊かな教養を持ち、人びととの高いコミュニケーション能力を持つ
2. 数学・物理の基礎学力に加え、情報技術を身につけ、ものづくりの支援技術である生産技術の基本知識を有する
3. 品質、原価、納期及び持続可能な産業社会のための管理技術によって、製造業を中心とする企業の経営活動において、問題を発見し、問題解決手段としてのしゅみを人間尊重の観点から設計・構築・運用するための能力を持つ
4. 将来のための自学自修及び自己啓発の能力を持つ

カリキュラム・ポリシー

(教育課程編成・実施の方針)

本学科では、人間尊重の高い視点を持ち、工学の基本知識と実践能力に裏付けられた管理技術を身につけ、人びととの高いコミュニケーション能力を持ち、経営活動のしゅみを設計・構築・運用することを通じて産業の発展に貢献することによって、人びとの生活を豊かにする能力をもつ人材を育成するため、以下に示した方針で教育課程を編成しています。

1. 理工学とマネジメントの基礎科目と情報処理科目を配置し、サービスを含むモノの生産・提供に必要なエンジニアリングの基礎を身につけます。
2. 管理技術と情報整理手法の科目を配置し、あらゆる組織活動の手段であるマネジメント・システム分析・評価・設計ができる能力を身につけます。
3. 人間工学や環境経営の科目を配置し、経営管理マネジメントの設計・運用において人間、環境への配慮ができる素養を身につけます。
4. 演習科目や卒業研究を通じて、フィールドにおける問題解決能力を身につけます。
5. 語学科目や演習・卒業研究を通して、コミュニケーション能力を養い、国際産業社会で活躍できる力を身につけます。
6. 演習・卒業研究を通じて、双方向教育による課題発見と解の探求を繰り返して発展させていく能力を身につけます。